

令和7年度 第4回デジタル地域通貨利用促進委員会会議録

1. 開催日時
令和7年11月28日（金）10時00分～12時00分
2. 開催場所
名取市役所 西棟第2会議室
3. 出席者
宮崎委員長、小平副委員、赤間委員、熊谷委員、千葉委員、佐藤委員、小松委員
4. 欠席者
松野委員、渡部委員
5. 出席者（委員長要請による出席者）
名取市商工会：高橋主査
名取市商工観光課：越河様
（株）NTTカードソリューション：川原崎課長（リモート）
NTT東日本（株）宮城支店：久保課長、谷平
（事務局）
DX推進室 成田室長、新開室長補佐、伊藤主査
6. 事務局より
 - ・傍聴者の報告及び会議の記録方法の確認
 - ・本委員会は公開対象とし、本日の傍聴者は0名。
7. 宮崎委員長あいさつ
 - ・先進地の視察報告も含め、プレミアム事業も行う中で、なとりコインの認知度も上がってきており次のステップとしてどう進めるか協議していきたい。
8. 資料
 - (1) なとりコインの利用実績について …【資料1】
 - (2) 各自治体の基本情報 …【資料2】
 - (3) 利用者向けアンケートの設問の検討について …【資料3】
 - (4) 加盟店向けヒアリングの実施内容について …【資料4】
9. 議事内容のポイント（課題等）
 - (1) 決定事項
 - ・年に1回は年齢を5歳刻みにしてユーザ数、チャージ額、決済額を分析する。
 - ・利用者向けアンケートの前文を短くまとめる。
 - ・加盟店アンケート
 - ⇒委員にアンケート内容をメールで照会する。
 - ⇒加盟店にはメールと手紙の両方で依頼する。
 - (2) 検討事項
 - ・中小の小売店でなとりコインを使ってもらえる仕組みを今回の視察も参考にして検討する。
 - ・期限切れのなとりコインで寄付ができるか。

- ・名取市も今後、戦略を作るか
- ・加盟店向けアンケート
⇒問 6 など複数の選択肢がある場合、最初から自由記述にするか。
⇒問 2～5 は削除するか。問 4 の質問の仕方を変更するか。
⇒問 13、14 の質問の仕方
⇒プレミアム事業がなくても加盟するか、どんな支援が必要かを聞くか。
⇒プレミアムの話かシステム全般の話か、何を聞きたいかで順番を整理する。
- ・キャンペーンの「のぼり旗」を使いまわしできるようにするか。

(3) 宿題事項

- ・なとりコインプレミアムの最終未使用額の確認。
- ・市外ユーザの利用傾向。観光か日常利用か。年度末には見たい。

10. 議事内容

◇なとりコインの利用実績について

(事務局)

- ・11月10日時点で登録者数は13,003名である。10月からは新規登録者数が減少している。年代別の構成は以前と変わっていない
- ・チャージ金額は約1億4,990万円であり、紙カード販売の約1億5,590万円を合わせて3億円を超えた。市外ユーザは907,890円で通常チャージの8.4%とそれなりに利用されている。
- ・決済金額は約3億1,600万円。8月25日の週が最高額。市外ユーザが約173万円でチャージ金額(約90万円)以上に使われている。昨年度の利用促進キャンペーンまたはプレミアム事業で紙から取り込んだ分が含まれていると思われる。年代構成は変わらない。
- ・店舗別、地区別も前回と変わらない状況。スーパーやドラッグストアなどでの決済が多い。
- ・11月25日時点でプレミアムは流通総額の約97%が利用された。約920万円が未使用なので今月末まで決済状況を見ていきたい。

(委員長)

- ・ユーザ数の大きな変化はなし。プレミアムが落ちついてきた。名取市在住の方の家族が仙台市に住んでいて、そこから新規にというのはあると思う。
- ・市外ユーザのチャージもそれなりに認知されている。使われている場所が確認できると良い。閑上等の観光地か、市内の買い物で使われているか等。
- ・決済金額はプレミアムの利用期限が迫っているので、そこでの伸びがベースになるかと思う。残りが3%でも1,000万円近くあるので最後まで確認したいと思う。
- ・物価高騰対策としては日常生活で商業施設での利用は目的には合っていたと思う。中小の小売についてはプレミアムでは難しいので、今回の視察も参考にして使ってもらえる仕組みを作っていく必要がある。

(委員)

- ・市外ユーザ170万円がM字のグラフと同じ形で使われているのか、夏休みが多いと観光で使われているとか。チャージのタイミングも連動しているとか。

(委員長)

- ・金額やユーザ数が少なかったなので、これまで市外ユーザの議論をしてこなかったが、プレミアム起源か以前からなのか金額も1割弱と増えてきているので、今後のユーザ拡大に向け動向を分析して欲しい。

(委員)

- ・松野さんとか気になると思う。

(委員長)

プレミアムが落ち着いたら、年度末に見れると良い。

(事務局)

- ・承知しました。

(委員長)

- ・名取市の人口動態、名取に住んでいて仙台市内で働いている人、仙台市に住んでいて仕事で名取に来ている人。近隣利用か観光か確認できると良い。

(委員)

- ・若年層と中年層の区分けが分かりづらい。5歳刻みだとよい。

(委員長)

- ・年齢わかる？

(事務局)

- ・生年月日が登録されている。

(委員長)

- ・3つの区分でやってもらっていた。1年に1回くらいは5歳刻みでも良い。

(委員)

- ・ドラッグストアとか家庭で使うもの、20代の前半と後半でも違うのでは？

(委員長)

- ・家計に直結しているので、その辺に敏感な方もいれば、10代、20代は家計よりも簡単な支払い方法を選ぶのか、その辺の選び方はある。高齢者（60代以上）のカード利用分は含まれていない？

(事務局)

- ・そうです。

(委員長)

- ・60代以上のボリュームゾーンはもっと増えているかもしれない。行政ポイントで付与されている？

(新開課長補佐)

- ・予算額としては700万円くらいだが、現時点での配布金額はおさえていない。

(委員長)

- ・市民祭りのお手伝いとかボランティア？

(事務局)

- ・もらっているのは高齢者が多い。

(委員長)

- ・プレミアムのなとりコインと通常の違いが理解されているか。今後問い合わせが増えないかは不安。プレミアム分と通常チャージ分の利用期限の違いとか。

(事務局)

- ・プレミアム分は失効。通常チャージ分は残る。

(委員長)

- ・利用者がそれを把握しているか、問い合わせがくる可能性がある。3%分の内訳は？

(事務局)

- ・カードで買われたものが残っているのか、スマホで取り込まれたかは不明。

(委員長)

- ・プレミアムの残額がどれくらいのボリュームゾーン（人数）なのかが見えていない。スマホの見せ方とかも明確にしていけると良い。

◇各自治体の基本情報

(新開課長補佐)

- ・1/20、21に三鷹市、前橋市、深谷市を視察した。デジタル地域通貨導入の経緯や利用促進の進め方、課題等を伺った。非常に有意義であった。なとりコインにも活かしていきたい。

◇宮崎先生の報告書

(委員長)

- ・自治体側とは異なる視点となる。デジタル地域通貨の仕組みや取組み状況に対しての話となる。

- 日本のデジタル地域通貨の動向。去年の日経新聞の記事から紹介。関西や首都圏でも使われている。宮城はなとりコインのみ。みやぽとは競合。東北は少ない岩手、山形、福島は3件、秋田、青森は0件。
- 地元の経済を回すのと外部の人にどう使ってもらうか。キャッシュレス、マーケティングでの活用。名取市のように定期的に共有しているところはあまりない。
- デジタル地域通貨のシステムの違いで出来ること、事業への取り組みなどを比較した。
- 三鷹市の「みたぽ」、前橋市の「めぶく Pay (官民連携で地元企業が作ったオリジナル)」、深谷市の「ネギー (老舗)」
- 三鷹市。2024年にスタート。チャージ機能は使わず、ポイント利用のみ。2021年から検討委員会を立ち上げ3年かけて検討した。コミュニティ活動の支援・活性化でポイント事業に振り切った。ボランティア活動のお礼でポイント付与し、地元のお店で割引したり、他の方にポイントをあげたり、地域内でポイントを循環させる。団体にまとめて付与し、団体が参加者にポイント付与している。天文台のグッズとかにも交換できる。ゴミ袋の交換の利用が一番多い。ポイントを付与する団体は増えているが、認定するのに事務局稼働も増えている。期限切れのポイントの寄付とかも検討中。名取市には無いメニューなので参考にしたい。
- 前橋市。2023年運用開始。2016年ぐらいから、まちづくり会社を官民連携で作って、マイナンバーカードと連携したアプリに決済機能を追加した。チャージも自治体給付金も利用できる。めぶくグラウンド社がデータ分析し、お店にフィードバックしている。セキュリティを高めた関係で人口比の普及率は7%と低い。地元還元の仕組み(3%を市が負担)は整っている。データ活用は先進的に取り組んでいる。
- 深谷市。2021年スタート。デジタル地域通貨の老舗。トラストバンク社(chiica)と深谷市が仕組みづくりを議論して導入戦略、ロードマップを作って、そのビジョンに沿って進めている。産業のブランディング化。地域の経済循環。渋沢ブランド。プレミアム商品券からスタート、コロナ交付金も活用しながら拡大。健康促進施策でポイント還元。市外も含め、人口比は49%。地域課題解決事業を進めている。

(委員)

- ネギーが4割の利用者。なとりコインは3年でそうなるか。ネギーが増えた要因は？

(事務局)

- 市民に1%ポイント還元しており、他の民間事業者よりポイント還元率が高い。加盟店数も多い。その辺が増えた理由。

(委員)

- 4割もあれば店舗も自然に増えると思う。

(委員長)

- 最初は商工会で開拓していたが、今は店舗側から入れて欲しいと来る。コロナ対策のプレミアム事業で拡大し、還元率も高く、セブン銀行とかでチャージできるとか使い勝手が良い。

(事務局)

- 深谷市は加盟店の振込手数料等は加盟店から取っていない。マイナス部分がない

(委員長)

- ふるさと納税のお金を原資にあてている。地元負担がないようにしている。

(委員)

- ビジョンは市民に伝わっているか？

(委員長)

- 市民側には聞いていないのでわからない。

(委員)

- 還元率なら、めぶくも3%。

(委員長)

- 自治体やシステム会社の協業。市民への説明。まず使ってもらうことを重視。総合戦略。ブランド戦略課の中に地域通貨係があり専任者が3名いる。カードも発行している。カードにもチ

ヤージが可能。Suica や nanaco のような感覚で使える。

(委員)

- ・使う時に手間がないのがよい。

(委員長)

- ・実際に使ったが、気軽に使えた。

(赤間委員)

- ・三鷹市で期限が切れたものを寄付している。名取市もそのようにして欲しい。前橋市はフィードバックしている。関東では15年前に「ためっぺカード」を発行していた。震災前まで。データを出すのが精いっぱいフィードバックが不十分だった。利用期限がないので貯まる一方だった。それは失敗だった。5000ポイントたまると補助で9000円分の旅行で使えた。

(委員長)

- ・深谷市は個人店舗にフィードバックしている。寄付は三鷹市もこれから。気仙沼市で事例あり。名取市はポイントとの切り分けをどうするかを検討が必要。

(委員)

- ・新聞で福岡では26件導入しているとの記事の紹介があったが、自治体同士は競合しているのか、なぜそこまで増えたのか？

(委員長)

- ・自治体か民間ベースかは確認できていないが、民間ベースが多いのかなと思う。

(副委員長)

- ・福岡はLINEの本社があり、登録者が人口より多い。LINEPAYとかも使っているかも。

(委員長)

- ・東京はベンダーも多い。世田谷とか渋谷とか。兵庫県もポイントに力を入れていた。群馬はchiicaが10ヶ所ぐらいで利用されている。

(委員)

- ・数が多いところに学ぶ手はある。
- ・普及するまでのキャズム理論みたいなものはあるのか。ネギーはどこから広がったのか、導入戦略に書かれているのか。三鷹ならジブリ、深谷は渋沢さん、めぶくは色んな所で使っている。

(委員長)

- ・糸井重里が地元でキャッチフレーズにしている。

(委員)

- ・ブランディングは松野さんが言ってる名称やデザインの件も関係してくると思う。
- ・なとりコインのターニングポイントは何かが気になる。

(委員長)

- ・プレミアム事業が契機になって認知度は上がったかなとは思う。そこからどうするか。地道な活動で広げるか、給付金等で広げるか。

(委員)

- ・行政ポイント付与事業の予算規模、関連部署数は？

(委員長)

- ・三鷹は？

(事務局)

- ・4000～5000万円と言っていた。

(委員長)

- ・前橋は行政ポイントではなかった。

(委員)

- ・贈与の文化。それが出来るとよい。

(委員長)

- ・市民活動で使えるとよいが、ポイントの移動はできない。

- ・名取市も今後、戦略を作るか検討材料としてみていく必要はある。

◇利用者向けアンケートの設問の検討について

(事務局)

- ・プレミアム事業及びなとりコインのレビュー、今後の施策の検討材料とするために実施する。
- ・なとりコインプレミアム購入者から無作為抽出で2,000名を対象にする。
- ・オンライン1,000名、カード1,000名。オンラインはxIDでプッシュ通知、カードは自宅に郵送
- ・オンラインの回答者にのみ100円分のなとりコインを進呈。
- ・「オンラインのみでも購入するか」という設問に変更。

(委員)

- ・フォームの入り口部分の文章が長い。

(事務局)

- ・前文は短くする。

◇加盟店向けヒアリングの実施内容について

(事務局)

- ・プレミアム事業及びなとりコインのレビュー、機能改善の要望の把握。
- ・オンラインフォームによる回答。
- ・全242店舗を対象。

(赤間委員)

- ・問6とか選択肢が多くて、その他もあるなら、最初から聞いた方がいいのでは？

(委員長)

- ・整理してもらえれば良い。自由記述にするか。

(委員)

- ・問13、14の設問の意図は？

(事務局)

- ・加盟店どうしの横つながり、コミュニティが生まれたりとか、そういう主旨で聞きたいと思った。

(委員)

- ・大学の学生アンケートでもこういう設問を聞くが、問13は勧めたいポイント、必要なもの、問14は勧めたくないこととかで分けて聞いてもいいと思う。

(委員長)

- ・勧めたいのか、勧めたくない理由を聞きたいのか？勧めたいなら、どういうお店が可能性あるかとか、気になるお店の情報を集めるとか。選択肢に「どちらとも言えない」を入れるか。

- ・問2と3は必要か。店名で分かるのでは？

- ・問4も知ったところでどうするのか。

(事務局)

- ・なとりコインを契機にキャッシュレス決済を導入したか聞けるといいかなと思ったが、、、

(委員長)

- ・なとりコインを契機にキャッシュレス決済を導入したかどうかを聞けばいいのでは。狙いをポイントを絞った方が回答率は上がる。

(委員)

- ・問5も過去のデータにあるのでは？

(委員長)

- ・商工会で持っているかもしれない。問6からのスタートでも良い。

(委員)

- ・問2と問4はイオンモール内の店舗だと答えづらい。

(委員長)

- ・問6は？

(委員)

- ・問6は聞いてみたい。

(委員長)

- ・問2～5は精査が必要。今回はプレミアムの話？それともシステム全般を聞きたい？その辺の順番も整理して欲しい。
- ・プレミアムがないと加盟しないのか、通常でも加盟するか、どんな支援が必要かは聞いてもいいのでは？板橋区はプレミアムで増えたが、その後、辞めてしまった。
- ・内容は次回でもいける？

(事務局)

- ・次回の委員会（1月末）では遅いのでメールで他の委員にも確認する。

(委員長)

- ・回収率が気になる。加盟店にはメールで送る？

(事務局)

- ・そうです。

(事務局)

- ・メールと手紙の両方で依頼した方が良い。

11. その他

◇なとりコイン利用促進キャンペーンの店頭掲示物

(事務局)

- ・カード、ポスター、のぼり旗を12月中に加盟店に配布する。

(委員長)

- ・のぼりは毎回作っている？

(事務局)

- ・キャンペーンとしては初めて。

(委員長)

- ・使いまわし出来るようにしても良いのでは？

12. 次回のスケジュール

(新開室長補佐)

- ・第5回は1/29（木）10:00から西棟2階会議室。

13. 閉 会